自衛隊栃木地方協力本部

栃木地本、ボーイスカウトのボランティア活動支援
～地域住民の理解と協力を促進～

自衛隊栃木地方協力本部（本部長　梶　恒一郎１陸佐）は、３月31日（金）栃木地本本部（宇都宮市）において、ボーイスカウト栃木県連盟壬生第１団が実施している「2023年トルコ・シリア地震救援金」支援活動協力及びタオル・古布回収支援を実施した。同団体へのボランティア活動支援は今回で2回目の実施であり、同団体に所属する木野内氏が自衛官募集相談員であることから実施されたものである。

当日に地本へ訪れたボーイスカウト団員は、栃木地本の2Fロビーで「2023年トルコ・シリア地震救援金」支援活動を行った。救助金に対するお礼を大きな声で述べていたのが印象的であった。

その後、災害支援及び福祉活動用として募っているタオルの贈呈が行われた。このタオルは、栃木地本の部員が自宅で使用していないタオル（新品、古タオル）を集めたものであり、部員の真心がこもった段ボール一杯のタオルが広報・渉外室長（佐藤１海尉）より手渡しされた。ボーイスカウト団員は、「自衛官がいっぱいいて緊張したけど、皆さんがたくさん協力してくれて嬉しかった。ありがとうございました」と感謝の言葉を述べていた。

栃木地本は「今後も、地域の団体への協力・交流を積極的に実施していくことで、自衛隊への理解と協力を促進するとともに自衛官募集へと繋げていく」としている。

災害支援及び福祉活動用タオルの贈呈
（左：広報・渉外室長（佐藤１海尉）

活動に賛同する地本部員

２０２３年トルコ・シリア地震救援金活動の様子

カンセキスタジアムホームゲームイベントで「はたらくクルマ展」！
栃木ＳＣvsいわきＦＣ戦観戦客にアピール！！

自衛隊栃木地方協力本部（本部長　梶　恒一郎１陸佐）は４月23日（日）、カンセキスタジアム（宇都宮市）で開催された「はたらくクルマ展」で広報展を実施した。

当日は天候に恵まれ、栃木ＳＣ vs いわきＦＣのサッカーの試合が行われることもあり、多くの来場者が訪れた。警察、消防の車両、電気工事関連の作業車及びバスなどに並び、1／2tトラックが展示され、広報ブースでは制服試着、自衛隊説明コーナーなどを設け、記念撮影をする来場者で賑わっていた。ミニステージでは、「はたらくクルマに関する紹介、お仕事の紹介」が実施され、自衛隊についてアピールすることができた。写真を撮っていた来場者からは、「娘が自衛隊が大好きなので、自衛隊の迷彩服を着て写真が撮れてとても喜んでいます。大きくなったら自衛官を目指すかもしれません」と笑顔で話していたことが印象的であった。

栃木地本は「今後も広報イベントを通じ、地域の皆様に自衛隊を身近に感じていただけるよう活動していくとともに自衛隊への理解の推進及び募集活動に邁進していく」としている。

会場にはたくさんの「はたらくクルマ」が展示された。

ミニステージでお仕事紹介

記念撮影をする来場者

賑わいを見せる広報ブース